

大学沼合同トレッキングに参加して
—北海道の思い出を含めて—

写真担当・名和 裕美 (1964年化学科入学)

私は予備校生時代に札幌で1年過ごしました。大学2年次に雄武・枝幸調査以来、北海道は59年ぶりでした。飛行機に乗るのも10年ぶりで、予約の仕方を川尻さん、子供たちに教えてもらい何とか往復の飛行機便を確保できました。過去2回の往復は青函連絡船を利用した列車乗り換えの長旅でしたが、今回は飛行時間約1時間で北海道に着いてしまい、時代の移り変わりを痛感した次第です。

昔の旭川駅、記憶に残っていませんが、将来の新幹線開通を見越しての近代的な駅舎となっていました。三浦綾子の小説「氷点」にも出てくる常磐公園はほぼ記憶のままで、堤防から見えた石狩川に掛かる旭橋はすてきでした。夜は予備校寮で同室だった友人と40年ぶりに再会、旭川駅前の飲み屋で、歓談ができました。

雄武・枝幸調査に合流する前に、市大化学科同級6名と大雪山を縦走しました。予備校のもう一人親友の実家が東旭川町の農家で、大雪山西登山口近くあり、ここに一泊して旭岳を登頂後に層雲峡に降りました。層雲峡に着いたのはもう夜遅くで、パチンコ屋の2階の空き部屋で素泊まりさせてもらいました。この後、化学科仲間とは羅臼岳を登頂後に別れ、探検部の雄武・枝幸調査に合流しました。今回層雲峡に立ち寄る機会があり、地元の人にパチンコ屋の有無を尋ねてみましたが、今は土産物店を含め商店街、旅館街は無くなつたようです。

川尻さん、三浦さんは旭川駅前のホテルメイツに宿泊、旭川駅で出羽さん及び現役部員（高田、三村、荒金）と合流し、出羽さんの車とレンタカーの2台に分乗して上川町資料館、層雲峡を経由して大雪山高原山荘に到着しました。資料館前に高梨沙羅の豪華な屋敷があったのには驚きました。埼玉の我が家では晴れた夜でも月、火星、金星、木星が見えるのがやっとですが、高原山荘では久しぶりに満点の星空を見る事ができました。昔は明るい星と星座名を覚えていたのですが、今回は星が見えすぎ、多すぎて星座がさっぱり判りませんでした。

翌日は出羽さんを残し、ヒグマセンターで注意事項を受講した後、トレッキングを開始しました。コースはよく整備されており、一人でも道に迷うことはなさそうでした。コース途上に、角材で整備された1段50cm以上の階段状のかなりの箇所がありましたが、上り及び下りとも年寄りにはかなりきつく、せめて1段40cm以下にお願いしたいところでしたが、61年前のテントを背負っての山行は、角材のコース整備もなくかなりの難コースだったと思われます。熊の姿はありませんでしたが、大学沼で一望はすてきでした。トレッキング後の懸念した膝の笑い、筋肉痛もなく、これならば100名山50登頂（現在43）は行けそう気になりました。現役部員のお三方、おじさん？おじいさんとお付合い頂き有難うございました。

出羽さん、現役部員と別れたあと、川尻さん、三浦さんと三毛別ヒグマ事件の現地を探訪しました。先週友人からヒグマ事件の小説吉村昭著「罠嵐」を譲り受け、まだ全文10頁と最後10頁に目を通し他だけですが、近日中に全文読破を目指します。

札幌では三浦さんと北大植物園、大通り公園、テレビ塔、時計台を見て回りました。61年前は植物園、時計台は無料だった気がします。大通公園は新しいイベントの初日で大賑わいでしたが、公園そのものは全く変わっていませんでした。

帰りの飛行機は窓際の席で、成田空港着陸時に西の空に夕焼けに映える富士山を見ることができました。

今回写真担当を任せましたが、途中でバッテリー切れの失態を犯して反省しています。撮った写真は整理して皆様に報告いたします。

～幹事による注：以下はすべて名和 OB が撮影した写真です～



北海道大雪高原 大学沼トレッキング感想文

会計担当 三浦 茂 (1969年 商学部卒入学)

1. 行動

1-1 上川町郷土資料館(9/6)

数年にわたる出羽、川尻の両OBの尽力で、交渉の場に参加することができた。また、【活動記録】実物(三村部員が部室で発見)の提示もあり当館の見学はもとより有意義なディスカッションができた。今後は、統括の教育委員会社会教育グループが町史の変更など具体的に検討するとのことで引き続き探査会・探検部OB会としてもフォローする。

1-2 沼巡りコ-ス(大学沼折返し)

1-1 同様 出羽、川尻の両OBの尽力で 実施され参加でき感謝に堪えない。61年前の隊の足跡をたどるトレッキングであり 物故隊員の追悼も行った。当時と違い、山道は整備され クマ対策としてヒグマ情報センタが設置され日々のパトロールや注意喚起の掲示等 積極的に登山客の安全に貢献している。



足あと



糞



食痕

1-3 感想

今回現役とOBの合同活動は、初めてであり参加に躊躇したが結果的には非常に有意義だった。特に年齢が50歳近く離れているのに
9/6 11:30 旭川駅集合から 翌7日の 17:00 旭川駅解散まで行動を一にしたことで 大いにミュニケーションがはかれた。

2. OB会

2-1 講演会の主催 各界のエキスパートによる講演(総会時)

2-2 現役との連携 OBとの合同活動(今回ベース) 物心両面の支援

3. 探検部

現役の活動に、繋がりが感じられない

日々 テーマを模索していると思うが、学生生活は限りがある。
悔いのないよう 頑張って欲しい。